

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104030	児童・生徒表彰事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		186	188		2
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	186	188		2

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

各学校において各種大会やコンクール、伝統芸能への積極的な取り組みを行っていたが、その活動等において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰し、意欲を高めるため、昭和60年度より事業を実施した。
--

事業概要

児童生徒栄誉賞授与 児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めたものについて、その栄誉を讃えることを目的に児童・生徒栄誉賞を授与
--

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況
校長会に意見聴取したところ、授与式の時期がインフルエンザ流行シーズンと重なり、中3は受験を控えた大事な時期のため、巡回形式での実施を希望する意見が寄せられている。

事業手法の詳細 1
1 児童生徒栄誉賞授与 188千円
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の体育・文化等の対外的活動において、花巻市の教育向上に資する顕著な成果を収めたものについて、その栄誉を讃えることを目的に児童・生徒栄誉賞を授与する 令和2年2月5日（水）各校を巡回して表彰を実施 受賞者数 スポーツ分野 238人、文化分野 46人、善行・努力分野 76人、計 360人 表彰基準 全国規模の大会で入賞、東北規模の大会で3位以内 岩手県大会で1位または記録更新した者 早起きマラソンの6年間または9年間皆勤賞 伝統芸能の継承に取り組んだ者 長年にわたり地域の福祉向上等に取り組んだ者など

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	01	104400	学校文化活動事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		491	551		60
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	491	551		60

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

児童生徒の豊かな情操を養う文化・芸術活動の役割が重要となってきた中、市内小中学校の文化活動の振興・発展のため、平成14年度に花巻市中学校文化連盟が組織され、事業を実施している。また、運動部の活動に係る助成制度との均衡も考慮し、活動の成果を発表する場である各種コンクール等への出場が円滑になされるよう、所要経費に対し補助する必要がある。

事業概要

花巻市中学校文化連盟事業補助
 市中学校文化連盟が実施する各種事業に対し補助金を交付
 コンクール等出場経費の補助
 市内小中学校の文化部等の大会出場経費の一部を補助

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

- 1 花巻市中学校文化連盟事業補助 360千円
 市中学校文化連盟が実施する各種事業（花巻市中学校総合文化祭等）に対し補助金を交付
- 2 コンクール等出場経費の補助 191千円
 市内小中学校の文化部等の大会出場経費の一部を補助
 ・全日本吹奏楽コンクール第57回岩手県大会
 ・全日本アンサンブルコンテスト第40回岩手県大会

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104860	キャリア学習支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,592	6,596		4
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	1,200	1,300		100
	その他	0	0		0
	一般財源	5,392	5,296		-96

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

豊かな人間性を育む

事業開始の背景・経緯

H29まで「小学校地域体験型学習事業」、「中学校地域体験型学習事業」、「復興教育学校支援事業」、「生徒会ボランティア活動支援事業」として実施していたものを統合した。

事業概要

体験的な学習の充実
各小中学校が総合的な学習時間に体験的な授業等を実施
生徒会ボランティア活動支援
各中学校生徒会が自ら企画・実施するボランティア活動の支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

学校現場から自動車借上げ料が不足し、保護者から徴収せざるを得ない等不自由しているという声がある。

事業手法の詳細1

- 体験的な学習の充実 6,376千円
各小中学校が総合的な学習の時間に、農業体験、伝統芸能継承活動、職業体験、福祉体験、被災地訪問や防災に関する授業等を実施する。
- 生徒会ボランティア活動支援 220千円
各中学校生徒会が自ら企画・実施するボランティア活動（学区内のごみ拾い、福祉施設での清掃、交流等）に対し支援する。